

「Electrochemistry」誌論文投稿規程

1 投稿論文の種類と内容

- (1) 投稿論文は、電気化学または工業物理化学の分野における研究成果を英文または和文でまとめたもので、下記の種類のいずれかとする。
- ① 報文(Article): 価値ある結論または事実を含む独創的な成果をまとめた論文。
 - ② 技術報文(Technological Report): 工業技術に直結した新しい知見、価値あるデータ、方法などをまとめた論文。
 - ③ ノート(Note): 断片的ではあっても新しい事実、価値あるデータ、方法などをまとめた原則として刷り上がり3ページ以内の論文。
 - ④ コミュニケーション(Communication): 新しい事実、価値あるデータ、方法などを含み、速報性を要する原則として刷り上がり3ページ以内の論文。
 - ⑤ 総合論文(Comprehensive paper): 著者のこれまでの論文数報の内容を、新しい見地からまとめた論文。
 - ⑥ 総説(Review): ある分野の研究動向を、広範な文献調査に基づき、現状と将来展望の視点からまとめた論文。
- (2) 総合論文および総説以外は、その内容がすでに公刊されていないものに限る。なお、本誌のコミュニケーションまたは他誌のこれに相当するものとしてすでに掲載された内容をさらに充実させ、本誌に報文または技術報文として再投稿することは妨げない。

2 投稿原稿の提出および審査

- (1) 著者は、本規定および別に定める投稿の手引にしたがって投稿原稿を作成しなければならない。これらに反する投稿原稿は受付しない場合がある。
- (2) 著者は、投稿原稿(図表写真を含む)を、当編集委員会宛てに Web 投稿システムにより送付する。
<https://www.editorialmanager.com/electrochemistry/>
- (3) Web 投稿システムによる投稿の完了日をその論文の受付日とする。
- (4) 投稿原稿の掲載の採否は、所定の審査を経た後、編集委員会の議により決定する。
- (5) 編集委員会は著者に投稿原稿の内容について訂正を求める場合がある。訂正を求められた投稿原稿が返送日より2ヶ月以内に再提出されない場合は、投稿を取り下げたものとみなす。

3 著者校正

会誌掲載に際しては、著者校正を1回行う。この際、印刷上の誤り以外の字句の修正、挿入、削除は原則として認めない。校正刷りは受取後2営業日以内に校正し、返送する。

4 掲載後の内容訂正

編集委員会が認めた場合には訂正記事を掲載することができる。掲載料は別に定める。

5 掲載料

投稿論文が本誌に掲載されたときには、著者は別に定める掲載料を支払わなければならない。著者の一人以上が本会の正会員または学生会員の場合には掲載料が割引される。割引料は別に定める。

6 著作権

本誌および本誌の電子メディアに掲載された論文の著作権は、公益社団法人電気化学会に属するものとする。

付則

この改正は2019年(令和元年)6月1日より施行する。

制定	昭和44年9月8日理事会承認
改正	平成元年9月12日理事会承認
改正	平成8年11月12日理事会承認
改正	平成10年9月4日理事会承認
改正	平成14年9月6日理事会承認
改正	平成20年9月18日理事会承認
改正	平成25年2月15日理事会承認
改正	平成27年12月21日理事会承認
改正	平成28年9月16日理事会承認
改正	2019年(平成31年)4月19日理事会承認

1. 原稿の作成

1.1 フォーマット

文書作成ソフトウェア (Microsoft Word®等) などを用い, A 4用紙に 12 ポイント, ダブルスペースで十分なマージンを取って記載する. フォントは, 英文ではローマン体 (Times New Roman など), 和文では明朝体を使用することを基準とする. ページ下部中央にページ番号を入れること. 英文論文中には 2 バイト文字のような非英語フォントを使用しないこと.

1.2 構成

投稿論文は以下に示した (1) ~ (6) をこの順にそれぞれ改ページして取りそろえる.

(1) 論文の表紙, (2) 要旨とキーワード, (3) 本文, (4) 引用文献, (5) 表, (6) 図

1.3 投稿論文の長さ

ノート, コミュニケーションについては, 以下の方法によって頁数を概算し, 規定内 (3 頁以内) に収まることを確認すること.

英文: (頁概数) = [(総単語数 / 7) + (図・表が占める行数) + 50] / 120

和文: (頁概数) = [(総文字数 / 25) + (図・表が占める行数) + 60] / 120

(図・表が占める行数) とは, 組版を想定した時, それらが占有する片断の行数の総数である. 煩雑な場合は, 図・表一つあたり, 15 行として概算してもよい.

1.4 表紙

表紙には, 論文題目, 著者, 所属, 連絡先を記入する.

著者は, すべての著者の Full Name (First name Middle Name LAST NAME) を順に記載する. LAST NAME は, すべて大文字で記載する. 連絡先著者 (Corresponding Author) には, *印を末尾につける. 所属が 2 カ所以上の時には, 所属番号を, a, b, c, ... の順に上付きで記載する.

(例) First name LAST NAME,^{a,*} First name LAST NAME,^b First name LAST NAME^c

所属はすべての著者について, 研究の行われた機関名 (できる限り省略しない公式名称), 所在地 (住所, 郵便番号, 国名) を記載する. 所属が 2 カ所以上の時は, 著者に対応した所属記号を行頭に上付きで記載する.

連絡先は, 著者のうち連絡先著者 (Corresponding author) についての連絡先を記載する. 連絡先は, E-Mail アドレスが望ましいが, 電話番号, Fax 番号も可とする.

1.5 要旨とキーワード

要旨は, 英文論文, 和文論文にかかわらず, 英文で記述する. 報文, 技術報文, 総合論文, 総説の場合は, 100-200 word, ノート, コミュニケーションの場合は, 50-100 word を基準とする. キーワードは, 英文論文, 和文論文にかかわらず, 英語語句 4 項目以内とする.

1.6 本文, 引用文献

1. Introduction (緒言), 2. Experimental (実験方法), 3. Results and discussion (結果および考察), 4. Conclusion(s) (結論) の順に記載する。ただし, 論文構成によっては, これらの構成を省略・改編してもかまわない。これらの後に必要に応じ, Acknowledgement(s) (謝辞), References (参考文献) を記載する。引用文献および本文中の注は, 該当する場所の右肩に通し番号で, 1 または, 2, 3, 4-6 のように示し, References (英文論文の場合) または, 参考文献 (和文論文の場合) の大見出しを付けて番号順にまとめて示す。本文中の引用文献や注をつける語に句読点, コロン, セミコロン等が付く場合, これらの後ろに通し番号をつける (和文論文の場合は, これらの前につける)。

参考文献の表記は下記の例を参考とすること。文献の略記法は, Chemical Abstracts や ISI Journal Title Abbreviations 等を参照すること。著者について *et al.*, 雑誌について *ibid.* を用いない。本誌を引用する場合, 誌名の表記は, 1998 年以前の場合, *Denki Kagaku* (presently *Electrochemistry*), 1999 年以降の場合は, *Electrochemistry* とする。

和文論文の場合も, 参考文献は英語で書くことを原則とする。

参考文献及び注釈の表記例を以下に示す。

1. K. Ueno and M. Seo, *Denki Kagaku* (presently *Electrochemistry*), **66**, 713 (1998).
2. K. Matsumoto, A. Matsuoka, and K. Nakagawa, *Denki Kagaku* (presently *Electrochemistry*), **66**, 537 (1998). [in Japanese]
3. S. Abe, A. Fuchigami, and T. Nonaka, *Chem. Lett.*, 1033 (1984).
4. L. R. Faulkner, *Chem. Eng. News*, **1984**, February 27, p.28.
5. R. W. Murray, *Acc. Chem. Res.*, **13**, 135 (1980).
6. A. J. Bard and L. R. Faulkner, *Electrochemical Methods, Fundamentals and Applications*, John Wiley and Sons, New York, NY, p.214 (1980).
7. S. Trasatti, *Comprehensive Treatise of Electrochemistry* (Eds. J. O' M. Bockris, B. E. Conway, and Y. Yeager), Vol. 1, Plenum Press, New York, NY, p. 44 (1980).
8. K. Izutsu, *Denkyoku-hanno no Kiso* (Ed. T. Osa), Kyoritsu Shuppan, Tokyo, Chap. 2 (1973). [in Japanese]
9. K. M. Mess, Ph. D. Thesis, University of Leiden, Leiden, The Netherlands (1969).
10. H. F. Lockwood, U. S. Patent, 3759835 (1965); *Chem. Abstr.*, **73**, 46241q (1970).
11. Y. Masuda and I. Uchida, *55th Annual Meeting of the Electrochemical Society of Japan, Abstr.*, p.122 (1988). [in Japanese]
12. *Selected Values of Chemical Thermodynamic Properties, National Bureau of Standards Circular 500*, U. S. Government Printing Office, Washington, D. C. (1950).
13. L. Roe, AEC Report 66-170, Los Altos, CA, February (1964).
14. These compounds were analyzed by gas chromatography (column packing: Apiezon Grease L; temperature: 120°C).
15. J. Robinson, G. E. Thompson, and K. Shimizu, *Oxide Films on Metals and Alloys VII* (Eds. K. R. Hebert and G. E. Thompson), PV 94-25, p.1, The Electrochemical Society Proceedings Series, Pennington, NJ (1994).

1.7 表

表は、用紙 1 ページに一つずつ英文で作成する。組版 1 段 (86 mm) あるいは 2 段 (178 mm) に合わせて配置されるので、わかりやすい体裁を工夫すること。表の上部に Table 1, Table 2 などの表番号と簡潔な英文表題をつける。

1.8 図

図は、組版横幅が 1 段 (86 mm) あるいは 2 段 (178 mm) となるので、この大きさを考慮した図を作成すること (目盛り, 凡例, 添え字等, 字が小さくなりすぎないように注意すること)。用紙 1 ページに原則、図 (Fig.) 一つを作成する。各図には、Fig. 1, Fig. 2 や、Scheme 1, Scheme 2 などの通し番号と、著者名を記載する。写真は、図 (Fig.) として取り扱う。顕微鏡写真などは、写真中の適当な場所に、スケールバーを入れる。図等の表題と説明 (Figure caption) をまとめた英文リストを先頭に、次のページからこのリスト順に図を並べること。

なお、図はカラー表示が可能である。

1.9 Supporting Information

論文内容を支持・補強するためのデータ (図, 表, 数式の誘導法, 写真など) を Supporting Information (SI) に掲載し、論文とともにオンライン公開 (Open Access) することができる。SI は論文原稿とは別の 1 つの PDF ファイルとして、論文原稿と同時に Web 投稿すること。なお、ファイルサイズは J-STAGE on-line system の規約に従い、50 MB 未満であること。

- A) SI の 1 ページ目には”Supporting Information”と明記し、論文と同じ題目, 著者名, 所属, 連絡先著者 (1.4 参照) を記した表紙をつけること。
- B) 本文中に必要不可欠な図表等は SI に含めないこと。
- C) SI にはページ番号を S1, S2, S3・・・のように、下部中央に付ける。SI 中の図表番号は S1, S2, S3・・・とし (例: Fig. S1, Table S1, Scheme S1), 本文中で Fig. S1 of the Supporting Information, Fig. S2 のように引用すること。
- D) 本文の最後 (謝辞があればその前, なければ参考文献の前) に SI が附属している旨を以下のように記述すること:
Supporting Information: The Supporting Information is available on the website at DOI: xxxxxxxxxxxxxxxx.
- E) 論文の改訂時に必要があれば SI も改訂してよいが、本文とは異なり変更点等は MS-Word の変更履歴の記録等で示さないこと (論文受理後, SI は編集されず, そのままアップロードされるためである)。

2. 各項目標記における注意点

基本的な表記法は、2012 年 1 月発行の Vol. 80 No. 1 以降の既報論文を参照すること。

- 2.1 論文題名に副題がつく場合、主題名の後にピリオドを打ち、副題を続ける。一連の論文を同じ主題名で発表する場合、主題名の後にローマ数字で通し番号をつけて副題を続け

- る。「Study on ...」や「...に関する研究」のような題名を避ける。
- 2.2 著者名は、First name の第 2 字以降を小文字、Middle name はイニシャルとピリオド、FAMILY NAME はすべて大文字で書く。2 名の著者は and でつなぎ、3 名以上の場合最後の著者名をカンマと and でつなぐ。
- 2.3 異なる研究機関に所属する著者が含まれる場合、ローマ字の a, b, c を著者名の右肩と研究機関名の左肩につける。研究機関と現在所属する機関が異なる場合、ローマ字の a, b, c を著者名の右肩につけて、Present address : (現在 :) として所属機関名と所在地を書く。
- 2.4 本文の区分けは、必要に応じて大見出しの下にポイントシステムによる記号を用いて、中見出し、小見出しなどを明瞭にする。例 : 1, 1.1, 1.1.1
- 2.5 複雑な数式や化学構造式は、図として扱うのでわかりやすく体裁を整える。
- 2.6 本文および図表の表題・説明には、原則として化学式を使わないで化合物名で書く。化合物の命名は、原則として IUPAC 命名規則による。
参考 : 日本化学会化合物命名小委員会, 化合物命名法: IUPAC 勧告に準拠, 日本化学会, IUPAC Nomenclature Books Series
(<http://old.iupac.org/publications/books/seriestitles/nomenclature.html>)
- 2.7 物理量に関する述語、記号、単位、数値等は IUPAC の規則にしたがう。
参考 : 化学で使われる量・単位・記号 (日本化学会 単位・記号専門委員会 (2013)) : <http://www.chemistry.or.jp/activity/unit2013.pdf>; 物理化学で用いられる量・単位・記号 第 3 版, 講談社 (2009) : https://www.nmij.jp/public/report/translation/IUPAC/iupac/iupac_green_book_jp.pdf
- 2.8 単位は原則として国際単位系 (SI) を用いる。以下のものは SI 単位ではないが、当分の間本誌での使用を認める。その他の非 SI 単位を使わざるを得ないときには、その論文中の箇所に定義 (SI 単位への換算) を本文中に括弧を用いて、例えば ($M = \text{mol dm}^{-3}$) のように示す。
ただし、時間の分 (min), 時間 (h), 日 (day), 平面角度の度 ($^{\circ}$), 分 ($'$), 秒 ($''$) についての換算は不要。
angstrom: $1 \text{ \AA} = 10^{-10} \text{ m}$
ton: $1 \text{ t} = 1 \text{ Mg} = 10^3 \text{ kg}$
liter: $1 \text{ L} = 1 \text{ dm}^3 = 10^{-3} \text{ m}^3$
atmosphere: $1 \text{ atm} = 101325 \text{ Pa}$
torr: $1 \text{ Torr} = 133.322 \text{ Pa}$
curie: $1 \text{ Ci} = 3.7 \times 10^{10} \text{ Bq} = 3.7 \times 10^{10} \text{ s}^{-1}$
kilowatt-hour: $1 \text{ kWh} = 3.6 \times 10^6 \text{ J}$
poise: $1 \text{ P} = 10^{-1} \text{ Pa s} = 10^{-1} \text{ kg m}^{-1} \text{ s}^{-1}$
stokes: $1 \text{ St} = 10^{-4} \text{ m}^2 \text{ s}^{-1}$
electron-volt: $1 \text{ eV} = 1.60218 \times 10^{-19} \text{ J}$
- 2.9 電位の表記は、たとえば SCE 基準の電位は、 $E = -0.24 \text{ V vs. SCE}$ のように書く。

2.10 数式および化学反応式には、通し番号を括弧でくくり右端におく。文中に出てくる分数式は、 $a/b, (a+b)/(c+d)$ のように 1 行に書く。二重の上付き添字、二重の下付き添字は使用しない。

3. 和文論文作成の注意

- 3.1 本文は、明朝体 12 ポイントで約 30 行/頁で作成する。
- 3.2 表紙には、日本語の論文題名、著者名（姓名）、研究機関名、所在地（郵便番号）と、それに対応する英語を併記する。
- 3.3 原則として常用漢字と現代仮名づかいによる口語体の常体を用いる。句点・読点は「.」と「,」を用いる。
- 3.4 化合物名のうち、簡単な日本語で慣用的に使用されているもの（例えば、酢酸、水酸化ナトリウム、ベンゼン）および文部科学省学術用語集化学編にある化合物は日本語で書く。
- 3.5 外国の人名、会社名などは英字つづりで書く。ただし、文部科学省学術用語集化学編にある周知の外国人名や術語は日本語で書く。[例] ネルンストの式、ファラデー定数
- 3.6 日本語で書かれた文献の引用は、ローマ字で表記する。ただし、年号の後に[in Japanese]をつける。
- 3.7 要旨、図表写真の表題、説明などはすべて英文で書く。
- 3.8 本文中に図表を引用するときは、Fig. 1, Fig. 2 および 3, Table 1, Table 2 および 3 などと書く。

4. 原稿の提出

4.1 電気化学会 Web 投稿システムによる投稿

Web 投稿システムの使用方法の説明は、投稿システムの最初のページ (<http://www.editorialmanager.com/electrochemistry/>) に掲載されているので、参照されたい。

原稿は、投稿システム中原稿アップロードのページに記載されているファイルフォーマット（2017年6月現在；アップロード可能なファイル形式は Word, Excel, PowerPoint, RTF, TXT, TIFF, GIF, JPEG, EPS, Postscript, PICT, PDF と掲載されている）で投稿が可能である。図については、図の番号、著者名をファイル中に記載しなくてもよい。原稿をアップロードした後、システムが自動生成した PDF (Portable Document Format) ファイルについて、原稿内容、特に、図の表記、順番が正しいことを確認すること。

国際研究者識別子 ORCID (Open Research & Contributor ID) を投稿時に入力できる。Web 公開される PDF ファイルには [http://orcid.org/\[著者の ORCID ID\]](http://orcid.org/[著者の ORCID ID]) へのリンクが張られる。

なお、審査意見を元に原稿を再提出する際は、システム中の査読者への回答書欄に回答をわかりやすく記載すること。

1. Preparation of Manuscripts

1.1 Format

Manuscript must be prepared double-spaced on A4 (or letter size) paper by 12 points Times and Symbol fonts with ample margins. Authors should make certain that printout and copies of the manuscript are clearly reproducible in high quality. Page numbers should be assigned to each page. No two-byte characters should be used in the manuscript.

1.2 Structure of manuscript

Manuscript consists of items in the order from (A) to (F). Each item from (A) to (F) should be made with separate pages.

- (A) Cover page, (B) Abstract and Key words, (C) text, (D) References,
- (E) Tables, (F) Figures

1.3 Length of manuscript

The number of pages in the printed form should be roughly evaluated by following Eq. 1, and should not exceed three pages for Notes and Communications.

$$\text{Number of Pages} = [\text{Number of Words}]/7 + [(\text{Number of Figures and Tables}) \times 15 + 50] / 120 \quad (1)$$

1.4 Cover page

The title of the paper, the names of the authors, and the affiliation(s) where the work was done, including the complete address(es), should be given on the cover page. The names of the authors should be written in the order of first name, middle initial(s), and SURNAME, with an asterisk indicating the corresponding author.

1.5 Abstract and Key words

The abstract (100–200 words for Articles, Technological Reports, Comprehensive Papers, and Reviews; and 50–100 words for Notes and Communications), and keywords (maximum of four, with each keyword containing no more than three words) should appear on this page.

1.6 Text, and References

The text should typically consist of the following sections; Introduction, Experiment, Results, Discussion (or Results and discussion), and Conclusions. Acknowledgments should be placed at the end of the text. References to the literature and all notes should be numbered in one consecutive series by using superscript numbers corresponding to the original references. When a comma, period (full stop), colon, or semicolon follows the word with the reference number, it should be placed between the word and the

number. Literature references and notes should be arranged and punctuated as follows. The names of the journals in the literature should be abbreviated as in ISI Journal Title Abbreviations or Chemical Abstracts.

1. K. Ueno and M. Seo, *Denki Kagaku* (presently *Electrochemistry*), **66**, 713 (1998).
2. K. Matsumoto, A. Matsuoka, and K. Nakagawa, *Denki Kagaku* (presently *Electrochemistry*), **66**, 537 (1998). [in Japanese]
3. S. Abe, A. Fuchigami, and T. Nonaka, *Chem. Lett.*, 1033 (1984).
4. L. R. Faulkner, *Chem. Eng. News*, **1984**, February 27, p.28.
5. R. W. Murray, *Acc. Chem. Res.*, **13**, 135 (1980).
6. A. J. Bard and L. R. Faulkner, *Electrochemical Methods, Fundamentals and Applications*, John Wiley and Sons, New York, NY, p.214 (1980).
7. S. Trasatti, *Comprehensive Treatise of Electrochemistry* (Eds. J. O' M. Bockris, B. E. Conway, and Y. Yeager), Vol. 1, Plenum Press, New York, NY, p. 44 (1980).
8. K. Izutsu, *Denkyoku-hanno no Kiso* (Ed. T. Osa), Kyoritsu Shuppan, Tokyo, Chap. 2 (1973). [in Japanese]
9. K. M. Mess, Ph. D. Thesis, University of Leiden, Leiden, The Netherlands (1969).
10. H. F. Lockwood, U. S. Patent, 3759835 (1965); *Chem. Abstr.*, **73**, 46241q (1970).
11. Y. Masuda and I. Uchida, *55th Annual Meeting of the Electrochemical Society of Japan, Abstr.*, p.122 (1988). [in Japanese]
12. *Selected Values of Chemical Thermodynamic Properties, National Bureau of Standards Circular 500*, U. S. Government Printing Office, Washington, D. C. (1950).
13. L. Roe, AEC Report 66-170, Los Altos, CA, February (1964).
14. These compounds were analyzed by gas chromatography (column packing: Apiezon Grease L; temperature: 120°C).
15. J. Robinson, G. E. Thompson, and K. Shimizu, *Oxide Films on Metals and Alloys VII* (Eds. K. R. Hebert and G. E. Thompson), PV 94-25, p.1, The Electrochemical Society Proceedings Series, Pennington, NJ (1994).

1.7 Tables

Each table should be prepared on a separate page. As the table may need to be reduced or re-prepared to fit a one- or two-column format (86 mm or 178 mm width) on the journal page, its structure and layout should be arranged properly.

1.8 Figures

Figures must fit a one- or two-column format (86 mm or 178 mm width, respectively) on the journal page, and hence figures should be prepared in consideration of the actual size, each on a separate page. Only one figure should be prepared on a page. Figure captions should be arranged on a separate page, and figures follow in order.

Photographs are dealt with Figures. A scale bar should be included in an appropriate position for microscopic photographs.

Color is available for figures and photographs in PDF format on the web.

1.9 Supporting Information

Authors can use Supporting Information (denoted as *SI*) to support and enhance the article. Additional figures, tables, mathematical deviations, etc. can be included in the *SI* and published on-line (Open Access) linked with the article. Submit one separate PDF file of *SI* simultaneously with the on-line submission of the manuscript.

- A) The *SI* should be preceded by a cover page that is labeled at the top as “Supporting Information” and provides the title, authors, author affiliations, and corresponding author (see item 1.4 above). The file size must be less than 50 MB according to the rule of the J-STAGE online system.
- B) Essential items must be included in the article, NOT in the *SI*.
- C) Page numbers should be included in the Supporting Information file and formatted as “S1, S2, S3, etc” at the center of bottom margin. Figures and Tables should be labeled as “S1, S2, S3, etc”. They should be cited in the text, for example, Fig. S1 of the Supporting Information or Fig. S2.
- D) If the manuscript is accompanied by any *SI* file, a brief paragraph should be placed at the end of the manuscript before the acknowledgement (or the list of references). The appropriate format is:
Supporting Information: The Supporting Information is available on the website at DOI: xxxxxxxxxxxxxxxx.
- E) If the author wishes to make any changes to the *SI* during revision of the article, then please make sure to provide an updated file, and do not annotate any corrections on a previous version. Please also make sure to switch off the 'Track Changes' option in any Microsoft Office files since these will appear in the uploaded *SI*.

2. Miscellaneous

Formatting and styles should follow the fundamental regulations published after Vol. 80, No. 1, issued on January 2012 in J-STAGE online.

- 2.1 A subtitle may follow the main title with a period. A sequential number in Roman numerals should follow the main title when a common main title is used in a series of consecutive reports. The use of "Study on" is not recommended as a title.
- 2.2 The first letter of the first name and middle name, and all the letters of the surname are capitalized.
- 2.3 When the work was done in more than two places, labeling using Roman letters in alphabetical order from "a" should be marked as a superscript on the right side of the concerned author's name and on the left side of the place where the work was done. When the present affiliation of the author (s) is different from the place where the work was done, the address should be preceded by the words "Present address:"
- 2.4 The following systematic headline numbers may be used. e.g., 1, 1.1, 1.1.1, and so on.

- 2.5** Mathematical expressions and chemical structures will be treated as symbols in the printing. The usage of chemical structures is not recommended in the text and in the titles of figures and tables.
- 2.6** The nomenclature of the chemicals should follow the IUPAC rules: IUPAC Nomenclature Books Series (<http://old.iupac.org/publications/books/seriestitles/nomenclature.html>)
- 2.7** Terminology, symbols, units, and quantities should follow the IUPAC rules: E.R. Cohen, T. Cvitaš, J. G. Frey, B. Holmström, K. Kuchitsu, R. Marquardt, I. Mills, F. Pavese, M. Quack, J. Stohner, H.L. Strauss, M. Takami, and A .J. Thor, Quantities, Units and Symbols in Physical Chemistry - the IUPAC Green Book - 3rd edition (IUPAC, RSC Publishing, Cambridge 2007 [ISBN 0 85404 433 7; ISBN-13 978 0 85404 433 7]).
- 2.8** Metric units (SI) should be used for all quantities except for the following units. For the other units, their conversion to the SI units should be described in the text. Minute (min), hour (h), day (day), and angle (° ,',") may be used.
- angstrom: $1 \text{ \AA} = 10^{-10} \text{ m}$
- ton: $1 \text{ t} = 1 \text{ Mg} = 10^3 \text{ kg}$
- liter: $1 \text{ L} = 1 \text{ dm}^3 = 10^{-3} \text{ m}^3$
- atmosphere: $1 \text{ atm} = 101325 \text{ Pa}$
- torr: $1 \text{ Torr} = 133.322 \text{ Pa}$
- curie: $1 \text{ Ci} = 3.7 \times 10^{10} \text{ Bq} = 3.7 \times 10^{10} \text{ s}^{-1}$
- kilowatt-hour: $1 \text{ kWh} = 3.6 \times 10^6 \text{ J}$
- poise: $1 \text{ P} = 10^{-1} \text{ Pa s} = 10^{-1} \text{ kg m}^{-1} \text{ s}^{-1}$
- stokes: $1 \text{ St} = 10^{-4} \text{ m}^2 \text{ s}^{-1}$
- electron-volt: $1 \text{ eV} = 1.60218 \times 10^{-19} \text{ J}$
- 2.9** The electrochemical potential, if SCE is used as standard, should be described as $E = -0.24 \text{ V vs. SCE}$.
- 2.10** Mathematical expressions and chemical equations should be numbered in one consecutive series with parenthesized numbers. Fractional expressions in the text should be described as a/b and (a + b)/(c + d). Doubled superscript and subscript should be avoided.

3. Submission of Manuscript

3.1 Electrochemical Society of Japan (ECSJ) Online Submission System Manual of the system is located at the following page (<http://www.editorialmanager.com/homepage/resources.html#tutorials>).

Submission to this journal proceeds totally online (<http://www.editorialmanager.com/electrochemistry/>) and the authors will proceed stepwise and upload the manuscript files. The system automatically converts source files (such as DOC, DOCX, XLS, XLSX, PPT, PPTX, RTF, TXTX, TIFF, GIF, JPEG, EPS, PS, and PICT) to a single PDF file. As the PDF file is used for the review process, please check carefully the contents of the file, especially the order of figures. Note that the source files are needed for further processing after acceptance.

Author(s) are encouraged to include their ORCID (Open Research & Contributor ID) identifier on their submission. The ID in the PDF file should be linked to [http://orcid.org/\[author's ORCID ID\]](http://orcid.org/[author's ORCID ID]).

When the authors submit the revised manuscript, they must input their response to specific reviewer and editor comments in the system.